

安心・安全・快適な暮らしを目指して



河川補修

史跡維持補修

減速表示

落下防止柵設置

道路補修

川口しげひろ 活動の様子

広島城天守閣木造復元を松井市長へ要望 2021.01.18
 広島経済界の方々と同僚議員の方々で松井市長に要望書を提出しました。2020年6月議会で、私も広島城木造復元について本会議で質問させて頂いた身として、その後、木造復元することが決定し大変喜ばしく思っております。

原爆ドーム保存工事現場視察 2021.02.03
 昭和42年、平成元年、14年、27年に次ぐ5度目の保存工事。修繕工法の技術進歩や酸性雨での傷み具合を確認。原爆ドームから一直線上に平和公園が見え、大変感慨深く、被爆地の議員として世界恒久平和と保存の大切さを改めて感じました。

安芸消防署瀬野川出張所披露見学会 2021.03.26
 老朽化し耐震性にも問題があったために建て替え。女性隊員の配属にも備え様々な所に配慮されていました。また、感染症対策にも徹底されており、前室を設けられたり足でドアを開けられたり等工夫をされていました。

予算特別委員会建設関係 2021.03.09
 花都川線について、総事業費16億円のうち進捗率は令和2年度末で53%となる見込み、用地取得状況(契約済を含む)は全体の54%、令和10年度頃の完成を目指します。山の手線について、総事業費57億円のうち進捗率は令和2年度末で23%となる見込み、用地取得状況(契約済を含む)は全体の23%、令和10年度頃の完成を目指します。

矢野中央線について、総事業費21億円のうち進捗率は令和2年度末で49%となる見込み、用地取得状況は全体の49%、令和8年度頃の完成を目指します。瀬野川に架かる橋梁について、中原橋は令和3年7月復旧完了予定、塚地橋は令和3年9月復旧完了予定、河島橋は令和4年3月復旧完了予定と回答を頂きました。

中学校給食を実現する為、市長・議長へ要望 2021.06.14
 私も本会議で2度(2019.09・2021.06)質問をさせて頂いた学校給食について。小学校・中学校共にそれぞれ問題を抱えております。今回は中学校給食を実現する為に活動されています、市民活動グループの方々と同僚議員の方とで要望書を提出させて頂きました。



輝く安芸区の未来のために

広島市議会議員 安芸区

川口しげひろ 市政レポート

2021 夏号
vol.4

《自由民主党・市民クラブ》 〒730-8586 広島市中区国泰寺町1丁目6-34 TEL:082-504-2734 FAX:082-244-5210
 この川口しげひろ市政レポートは、自由民主党・市民クラブの承認を得て発行しています。

ごあいさつ

暑い日が続いておりますが、皆様お元気でお過ごしでしょうか。平素より、広島市議会議員川口しげひろに格別のご理解とご協力を賜り誠に有難うございます。昨年より、新型コロナウイルス感染症により、1年延期された東京オリンピック・パラリンピックもほとんどの会場で無観客開催が決定的となりました。また、7月上旬には、豪雨の影響で静岡県熱海市での土石流をはじめ広島県や中国地方・九州地方などでも冠水などの被害があり、改めて、防災対策の重要性を認識致しました。さて、この度の6月議会では、トップバッターで会派を代表し一般質問をさせて頂きました。内容をレポートにまとめさせて頂きましたのでご一読くだされば幸いです。また、議会最終日には、新たな常任委員会の配属が決定し、建設委員会の副委員長を拝命致しました。引き続き、皆様のご期待に添えるよう、全力で取り組んで参りますので、どうぞ宜しくお願い致します。

災害復興

》 予算特別委員会総括質問 急傾斜地崩壊防止対策について 2021.3.17



質問 令和3年度当初予算案の急傾斜地崩壊防止対策費のうち市施行事業費として11億1千万円の予算が計上されており、27箇所とあるが安芸区の地域別詳細はどうか。

回答 市施行27箇所のうち安芸区の施行予定2箇所内訳は船越四丁目15地区及び矢野東二丁目4地区です。



質問 令和3年度当初予算案の急傾斜地崩壊防止対策費のうち県施行事業費について、事業負担金として9千万円の予算が計上されており、25箇所とあるが安芸区の地域別詳細はどうか。

回答 県施行25箇所のうち安芸区の施行予定5箇所内訳は、中野東四丁目20地区、瀬野四丁目地区、船越六丁目17地区、下為角4111地区および矢野西三丁目37地区と県から聞いています。

質問 所有者不明土地について、所有者不明土地の施行後の国の動向はどうか。

回答 令和元年5月に「表題部所有者不明土地の登記及び管理の適正化に関する法律」を公布、施行。この法律では、土地登記簿に表題部所有者欄の氏名、住所が正常に記録されていない土地について、調査権限が登記官に付与され、所有者等の特定ができなかった場合、裁判所の選任した管理者が当該土地を管理できる。また、土地の所有者が死亡した時に、相続登記がなされない事などにより、新たな所有者不明土地が発生する恐れがある事から、このような問題を解決するため、民法及び不動産登記法の改正案等が令和3年3月5日に閣議決定。今国会で成立すれば相続登記の義務化や土地所有権の放棄を認める制度、裁判所が選任した財産管理人制度などが創設され、令和5年度から施行される予定です。

3月2日～25日迄の予算特別委員会におきまして、建設関係(2021.3.9)と総括関係(2021.3.17)でそれぞれ安芸区内の道路(花都川線、山の手線、矢野中央線)や瀬野川にかかる橋梁(中原橋、河島橋、塚地橋)の進捗状況、がけ崩れ(急傾斜地崩壊防止対策)等について質問をさせて頂きました。

所属委員会等：建設委員会(副委員長)・議会改革推進会議・安心社会づくり対策特別委員会・議会運営委員会

川口しげひろ略歴
 近畿大学工学部卒業
 近畿大学大学院博士前期課程修了
 自民党元幹事長秘書
 公設第1、第2秘書
 国会議員政策担当秘書資格取得

市政に関するお問い合わせやご要望は
 お気軽に **川口しげひろ事務所** まで
 〒736-0083 広島市安芸区矢野東5丁目1-15 クスノキビル2F
TEL(082)824-7233 FAX(082)824-7232

Facebook: facebook.com/shigehiro.kawaguchi
 Instagram: instagram.com/kawaguchi_shigehiro
 Website: https://www.kawaguchi-shigehiro.jp/
 E-mail: office@kawaguchi.cfns.jp
 川口しげひろ

令和3年 第2回 定例会 (6月15日~6月25日)



質問内容

- (1) 新型コロナウイルス関連について
 - ・ワクチン接種について
- (2) 平成30年7月豪雨災害からの復旧とデジタル技術を活用した防災・減災について
 - ・平成30年7月豪雨災害の復旧状況について
 - ・矢野安浦線の整備について
 - ・デジタル技術を活用した防災・減災について
- (3) 21世紀を担う子供たちが夢と希望を持てる環境づくりについて
 - ・新中央市場と東部市場の移転について
 - ・インクルーシブな公園の整備について
 - ・小・中学校の給食体制について
 - ・船越地区の放課後児童対策について



新型コロナウイルス関連(1)



質疑・質問 現役世代の接種希望者の配慮の一つとして、夜間接種の必要性があると思うが、どうか。

回答 64歳以下の接種対象者は、働く世代や学生が多く、夕方から夜間にかけて接種を受けることができる環境を整備する必要性があると考えています。このため、今後、オフィス街や交通結節点などに、接種を受けることができる会場を設置するなど、働く世代や学生に配慮した接種場所を可能な限り確保してまいります。



新型コロナウイルス関連(2)



質疑・質問 安芸郡4町や広島市周辺市町とのワクチン接種の連携についての考え方やその取組はどうなっているか。

回答 周辺市町から広島市に通勤・通学している方が広島市内で接種を受ける環境を整備することは、重要な取組と考えています。このため、まずは、安芸郡4町と住所地外接種に当たって、住民が接種を行う自治体へ申請をしなくても接種ができるよう協議しているところですが、自治体によって接種の予約システムが異なることから、詳細について調整を進めているところです。



西日本豪雨災害の復旧(1)



質疑・質問 <平成30年7月豪雨災害の復旧状況について> 発災から3年を迎えるにあたり、現時点での公共土木施設の被害について、広島市全体での復旧状況はどうか。安芸区内での復旧状況はどうか。また、今後の復旧の見通しはどうか。

回答 平成30年7月豪雨災害における本市の河川や道路等の公共土木施設災害復旧事業については、5月末時点で、全344箇所のうち、約9割297箇所が着手済みで、そのうち209箇所が完了しています。この中で、安芸区内は、全165箇所のうち、約9割の149箇所が着手済みで、そのうち113箇所が完了しています。今後の復旧の見通しとしては、工事期間に制約のある国・県の河川工事と工程調整を要する橋梁の一部工事などは、令和4年度末までに工期が必要な状況ですが、これら以外は、未発注の工事も早期契約に努め、本年度末の完了を目指していきたいと考えています。

西日本豪雨災害の復旧(2)



質疑・質問 <主要地方道矢野安浦線の復旧について> 主要地方道矢野安浦線の路肩の復旧について、現状と今後の復旧の見通しはどうか。また、工事期間中の車などの交通はどのようにするつもりか。

回答 平成30年7月豪雨災害では、主要地方道矢野安浦線の路肩や道路と河川の兼用護岸など7か所が崩壊しました。復旧工事には、終日の片側交互通行規制を伴うため、交通管理者やバス事業者と協議をしたところ、矢野地区での著しい渋滞が発生するので別途迂回路が必要との意見が出されました。これを受けて本市では、令和2年12月の広島熊野道路の無料化により、並行する矢野安浦線の交通量が減少した後に、工事に着手することとしました。現在、無料化後の矢野安浦線の交通量が約4割減となったことから、工事着手の準備を進めており、本年度末の復旧完了を目指しています。



西日本豪雨災害の復旧(3)



質疑・質問 <デジタル技術を活用した防災・減災について> ①ドローンやAIといったデジタル技術を活用した防災・減災対策や災害予測について、本市では必要性をどう考えているか。②本市の現在の取組や今後の方向性はどうか。

松井市長の回答 ①近年、豪雨や台風等による災害が頻発しており、その形態も激甚化、広域化、複合化している中、人間の判断・能力だけでは対処が追い付かない事象が増加しています。様々な観測装置のデータやSNS上の投稿など膨大な情報を解析・評価することのできるAIを始めとしたデジタル技術を活用することは、迅速的確な意思決定や市民等への情報伝達が図られるなど、防災・減災の面で、必要不可欠であると認識しています。こうした認識の下、平成26年8月豪雨災害の教訓を踏まえ、平成29年度に、避難情報の発令地区を自動的に抽出する機能を備えた「防災情報共有システム」を導入しているほか、平成31年度から消防局において、火災や自然災害等における情報収集、行方不明者の捜索等に活用することを目的に、ドローンの運用を開始しています。また、平成30年7月豪雨災害の教訓を踏まえ、平成31年度からは防災ライブカメラの設置を、令和2年度には、スマートフォン専用の「避難誘導アプリ」を導入し、デジタル技術を活用した防災・減災対策に取り組んでいるところです。②今後、様々な情報を迅速かつ的確に収集・分析できる高度に優れた技術であるデジタル・トランスフォーメーション(DX)の進展により、今まで以上に効果的・効率的な災害対応や市民の避難行動の変容が図られていくものと確信しています。本市では、度重なる大規模な自然災害の教訓を踏まえ、防災分野におけるさらなるデジタル化を推進し、災害に強い、持続可能なまちづくりに取り組んでいきたいと考えています。



21世紀を担う子どもたちが夢と希望を持てる環境づくりについて(1)



質疑・質問 <新中央市場建設と東部市場の移転について> 市には、野球やサッカー、グラウンドゴルフ等ができ、先進的な遊具を有したインクルーシブな公園を整備していきたいと考えているかどうか。また、その整備にあたっては、東部市場の跡地を活用してはどうか。

回答 不特定多数の方々が利用する公園については、これまでもバリアフリー化はもとより、ユニバーサルデザインの導入を図ってきているところですが、インクルーシブ化は、利用者の障害の有無や障害の特性等までも配慮したものであり、従来の公園施設のあり方を大きく見直すことになるものです。このため、施設及び空間の整備のあり方については、これまで予定していなかった専門的な知見が不可欠になることから、他都市の先進事例を踏まえ、今後、本市の障害者団体等の御意見や御要望もお聞きしながら、遊具の整備内容や供用時の管理体制等について、調査研究を行っていきたくと考えています。また、東部市場の跡地の活用方策は、今後、検討していくこととしておりますが、その際には、インクルーシブな公園に対するニーズの高まりなど、地域の皆様の御意見もお伺いして参ります。



21世紀を担う子どもたちが夢と希望を持てる環境づくりについて(2)



質疑・質問 <新中央市場建設と東部市場の移転について> ①デリバリー給食の早期解消について、広島市はどのように考えているか。②給食提供体制の見直し方針について、検討状況はどうか。

回答 ①中学校における選択制のデリバリー給食については、近年、利用申込率が30%程度にまで低下し、アンケートにおいても、「味」や「温度」について生徒の評価が低く、食卓方式を望む保護者の声が多くなりました。こうしたことを踏まえ、全ての中学生に対して、温かくておいしい、給食を提供していけるよう、選択制のデリバリー給食をできるだけ早く解消していきたいと考えています。②給食提供体制の見直しに当たっては、選択制のデリバリー給食の早期解消を検討するとともに、あわせて将来の給食提供体制について、検討する必要があります。このため、現在、広範な市域におけるそれぞれの地域の実情や現在の給食提供体制を踏まえた検討を進めるとともに、様々な観点から、自校調理方式と給食センター方式の比較検証を進めているところです。このほか、デリバリー給食の調理業者や、食材調達に関わる事業者との協議・調整も必要なことから時間を要していますが、本年中には方針をお示しできるように進めてまいります。



21世紀を担う子どもたちが夢と希望を持てる環境づくりについて(3)



質疑・質問 ①船越小学校の児童館や放課後児童クラブについてどのように考えているのか。②児童館の建設場所は船越小学校の運動場が適当だと思うが、どうか。建設に向けた検討状況やスケジュールはどうか。

回答 ①船越児童館は、シルバー人材センターや安芸商工会とともに、安芸区役所分館の一部を利用して運営しています。この建物は旧船越町役場として使用されていたもので、建築後50年以上が経過し、耐震性もありませんが、現在、区役所分館として機能は有しておらず、当面、耐震対策を行う予定はありません。このため、児童館の耐震対策が進み、未実施の児童館が残り3館となる中、今後、児童館単独での移転を含めた抜本的な対策が必要な状況にあると考えています。なお、児童館内にあった放課後児童クラブについては、建物が学校敷地外にあり、児童が放課後に学校から移動しなければならないこと等踏まえ、今年度から船越小学校の余裕教室に移動し、運営を行っています。②船越児童館の移転に当たっては、船越小学校の運動場への整備や、同小学校の余裕教室の活用が選択肢になるものと考えています。現在、児童館未整備学区の早期解消に向け、3年に4館のペースで整備を進めており、船越児童館の移転整備を行う場合には、この未整備学区も含めた全体の中で、整備順位を検討していくこととなります。したがって、現時点では具体的な整備スケジュールをお示しすることは困難ですが、余裕教室の活用や建築仕様の見直しなどにより、経費縮減を図りながら、整備のペースの向上に努め、できるだけ早く対応できるようにしたいと考えています。

